



看護連盟とやま

第33号

平成30年1月31日発行



石田 昌宏

まさひろ

先生



目次

新年のごあいさつ	2 ~ 3
平成 29 年秋の叙勲受章	2
平成 30 年度富山県予算に対する要望事項	3
組織内候補予定者 石田昌宏先生	4
石田議員に現場の声を届ける会	5
青年部推進委員会だより	5
平成 29 年度 活動報告(研修会)	6 ~ 8
夜間看護等手当及び夜勤手当調査結果	8
平成 29 年度 支部活動報告	9
平成 30 年の活動にあたって(14 支部長より)	10 ~ 11
会員募集	12
平成 30 年度行事予定	12
県外研修報告	12

第48回衆議院選挙ご当選おめでとうございます



あべ 俊子 議員(5期目)

岡山3区



木村 やよい 議員(2期目)

京都3区

(発行所) 富山県看護連盟 〒930-0885 富山市鵜島字川原1907-1 TEL(076)431-7855 FAX(076)431-7820

<http://www.tomiren.com> E-mail:tomiren1@pk.ctt.ne.jp

(発行責任者) 三谷 順子

富山県看護連盟

検索

新年のごあいさつ



富山県看護連盟 会長 三谷 順子

今年の冬は一段と寒さが厳しい中、皆さんはそれぞれのお立場で新たな希望を胸に新年をお迎えのことだと思います。

昨年は、6月に石田参議院議員が組織内候補予定者に決定され、現在、石田議員をより深く知って熱伝導で応援していただく活動に取り組んでいるところです。また、第48回衆議院議員選挙では激しい選挙戦を戦い抜いて岡山3区からあべ俊子議員、京都3区から木村弥生議員が再選されました。看護にとってまことに力強い誇らしい結果でした。様々な形でご支援いただいた会員の皆さんに感謝いたします。

いま、私たちをとりまく環境が激変しているなか、私達の看護の本質、その本質に沿った看護を提供できているだろうかと考えたとき、日帰り手術を急に受けたことになった知人からの話を思い出しました。多くの患者者が待機しているなか、不安な自分に静かにやさしく語りかけてくれたナースが本当にありがたかったと。これは、ナースのやさしい人柄というばかりでなく、状況をしっかりと把握して適切な対応ができる力があったからこそと思います。

常にそのような看護を提供できる力を育て守っていくためには何が必要でしょうか。看護政策を見極め、政策実現に向けて一歩ずつ前に進むには政治の力が不可欠です。皆さん、看護の未来への夢の実現に向けて、熱い心で、スクラムを組んで頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「力強い看護連盟」を目指して 日本看護連盟 会長 草間朋子

新春のお慶び申し上げます。

会員のみなさまは、それぞれの抱負を胸に、新たな年を迎えたことだと思います。

昨年の看護連盟の重点目標は、「組織力を強化する」ことでした。去る10月に行われました衆議院選は、連盟にとっても大変厳しい選挙でしたが、あべ俊子先生、木村やよい先生を再び国政の場に送ることができ、看護連盟の底力を社会にアピールすることができましたことは看護連盟にとって大きな収穫であったと感謝申し上げます。

今回再選を果たされたお二人の衆議院議員の先生と、参議院議員のたかがい恵美子先生、石田まさひろ先生の4人の国会議員の先生と連携協働し、私たち看護職の手、力でしっかりと看護政策を実現してまいりましょう。

看護連盟会員のみなさま一人ひとりの努力の積み重ねが成果を導くものと信じております。

今年も、くれぐれもよろしくお願いします。



富山県看護協会 会長 大井 きよみ

新年おめでとうございます。

富山県看護協会では昨年、地域包括ケアの推進に向け、訪問看護ステーションの機能強化を図るためにテレワーク事業やトライアル雇用事業などのほかに、病院看護師の在宅療養支援能力を高める訪問看護出向研修事業に取り組みました。中でも、出向研修事業は他県の関心も高く、12月に全国訪問看護事業協会や日本看護協会主催の研修会で発表する機会もいただきました。

また、フランスからイブ・ジネストさんを迎えて「ユマニチュードを学ぶ」と題し、初めての国際教育講演会を開催いたしました。450名の参加があり、感動の研修会になりました。

さらに、平成30年度は「摂食嚥下障害看護」認定看護師養成課程の第一回生の修了を迎える予定です。引き続き、県民の健康で豊かな暮らしの実現のために、看護の力を發揮していきましょう。

平成29年秋の叙勲受章おめでとうございます

瑞宝単光章

阿閉 洋子 様	元 富山市立富山市民病院 看護部長
加藤 昌子 様	元 黒部市民病院 看護部長
中山 真由美 様	元 富山大学付属病院看護部 副看護部長

新年のごあいさつ



参議院議員 たかがい恵美子

富山県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて昨秋の衆議院総選挙では、一致結成の大勝利を収め、新たな希望の拡がりを共有することができました。看護職はいのちの現場の守り手として、次代に相応しい社会保障制度体系づくりを牽引する大切な存在。その一人ひとりの真心に感謝し、看護職の誇りと気概を胸に、これからも果敢に挑戦を続けたいものです。

私こそ、参議院では文教科学委員長に指名され、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査にあたることとなり、また党務調査会においても新たに文部科学部会副部会長を拝命しました。厚生労働部会についても引き続き、副部会長の任にあたります。働き方改革を始め幅広い厚生労働分野の諸課題と真摯に向き合い、これからも、その解決のため堅実に職責を果たして参ります。

皆々様の温かいお支えに改めて心から感謝を申し上げ、また皆様によりまして健やかな笑顔あふれるよき年となりますことを、重ねてご祈念申し上げます。



参議院議員 石田まさひろ

富山県看護連盟のみなさま、あけましておめでとうございます。平成30年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、日本看護連盟の総会において、組織内候補予定者としてご承認いただきました。看護を取り巻く課題改善のため、看護職の代表として精一杯力を尽くしてまいります。また、9月には、参議院において厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。厚生労働委員会は、運営が最も難しい委員会の一つとも言われておりますが、そのような中、他の会派と調整を行う緊張感の高い役割も務めさせていただきました。鋭意力を尽くしてまいり所存です。



衆議院議員 あべ俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

富山県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様の多大なるお力添えのおかげで、5期目の国政へ送り出していただきました。本当にありがとうございました。また改選後は、財務金融委員会(理事)、予算委員会、地方創生に関する特別委員会の委員を拝命するとともに、自民党副幹事長としてもその任に就かせていただいております。これからますます本格的となる超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様の大きな力が必要です。その看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護ができるお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



衆議院議員 木村やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨秋の衆議院議員選挙では、温かいご支援を賜り、ありがとうございました。看護連盟の皆さまのお力添えあって、再び議員バッジをお預かりさせていただくことになりました。皆様への感謝の念は尽きません。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」を目指し、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たすため、現場の最前線で、ただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

そして、政治家として、光の当たらぬところにあたたかな光を当てる政治を忘れずに、女性の視点、母親の視点、看護の視点を生かし、皆様のご期待と信頼に応え、看護職の皆さまへのご恩返しをしてまいります。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年度 富山県予算に対する要望事項

平成29年8月25日(金)連盟会長と協会長の連名で自由民主党富山県連政務調査会環境部会に要望書を提出した。

1 看護の質の向上について

- (1) 特定行為にかかる看護師の研修制度の推進
- 新** (2) 県立大学看護学部における看護職員へのキャリア支援
- (3) 認定看護師教育センターへの継続支援と教員の確保
- 新** (4) 特定分野(在宅看護や老年看護領域)の実習指導者の養成
- 新** (5) 介護施設等における看護の質の向上

2 看護職が働き続けられる環境づくりについて

- (1) ナースセンターへの届出制度の周知と協力支援
- 新** (2) 医療勤務環境改善支援センター 病院サポート事業の継続

3 看護領域の開発・展開について

- (1) 訪問看護ステーションの大規模化、ネットワーク化の推進
- 新** (2) 訪問看護ステーションの活用促進等への支援
- 新** (3) 助産師の出向支援
- 新** (4) 子ども・子育て支援施策の推進のための支援
- (5) 保健師の保健活動における体制整備や人材確保及び人材配置への支援
- (6) 大災害発生時の連携体制の推進

組織内候補予定者

まさひろ
石田 昌宏 先生



石田昌宏3つの誓い

課題に向けての取り組み

第一 「職場環境の改善」

給与、勤務体制、休暇、子育て支援や介護支援等の改善

第二 「看護職の自立」

看護職がプロフェッショナルとして成長できるよう基礎教育と卒後教育を連続的に充実。最も大切なことは、保健師助産師看護師法第六条における「指示の下」からの脱却

第三 「社会的評価の底上げ」

看護職が社会に与える影響力や技術や能力の優秀さに対しても、「さすがだ」と言ってもらえる社会とする。その為に国会議員の発信力をもって「看護の価値」を訴える

いい看護の実感こそ、私たち看護職の原点です。そして、原点に忠実に、これが私の政治姿勢です。

これからも看護職代表の国会議員として誠心誠意、力の限り行動して参ります。これからも、看護職の皆さんのが「いい看護ができるよかったです！」と思える日本を作るため全力を尽くして参ります。

活動実績

- 医療・介護総合確保推進法成立で看護師の特定行為の研修制度に加え看護職免許保持者のナースセンターへの届け出制の創設
- 看護師通信制進学コースの教育訓練給付制度の要件見直し
- 22年ぶりとなる看護職の夜勤手当のアップ
- 在宅看取りのICTを使った死亡診断の要件緩和
- 刑事施設の医療・看護の改善
- 一般病床での認知症へのかかわりに関する診療報酬上の評価
- 精神科アウトリーチに関する診療報酬上の評価
- 心理職の国家資格化として公認心理師法の制定
- 東日本大震災被災地での医療職の確保
- 受動喫煙禁止への取り組み：たばこ税を見直し旧3級品の特例を廃止等
- 危険ドラッグ対策の充実により若者らへの浸透を阻止

趣味

金魚・神社巡り

参議院議員・自由民主党 石田まさひろ プロフィール

1967年 奈良県大和郡山市生まれ
兵庫県・甲陽学院高等学校卒業

1990年 東京大学医学部保健学科卒業
在学中は応援部の活動に精力を注いだ。
当時ほとんどいなかった男性の看護師として、聖路加国際病院（内科）東京都武蔵野病院（精神科）に勤務。その後、日本看護協会で政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。統いて38歳で日本看護連盟幹事長に就任し各級選挙のかじ取りをする。

2013年 比例区（全国区）にて参議院議員初当選

参議院 厚生労働委員会 筆頭理事
沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員
資源エネルギーに関する調査会 委員

自民党 財務金融部会・厚生労働部会 副部会長
厚生労働部会看護問題小委員会 副委員長
厚生労働関係団体委員会 副委員長
国際保健医療戦略特命委員会 幹事
性的指向・性自認特命委員会 事務局次長
参議院国会対策委員会 副委員長

議連 看護問題対策議員連盟 幹事 等

「石田まさひろを応援する会」発足

この会は、看護が抱えるさまざまな課題を政治的に解決し、看護政策を実現していくために看護職を代表する国会議員石田まさひろの政治活動を応援するものです。

皆さん、「石田まさひろ」を知って、「石田まさひろを応援する会」に入会しましょう。



石田議員に現場の声を届ける会

—石田まさひろ参議院議員と語る会—

日 時 平成29年12月15日(金) 18:00~20:00

会 場 たいめいけん（富山県美術館3F）

内 容 ①石田議員が取組んでいる政策活動等に関する国政報告

②富山県内施設の現場の声や看護現場で抱える問題について意見交換

参加者 68名

主催者より

この会の開催に際し、県選出の田畠裕明衆議院議員が駆けつけてくださり、応援の言葉をいただきました。プログラムの「現場の声を届ける」では3施設から9名が様々な視点で意見を出し、それに対して、真剣に答える石田議員の声に会場にいる参加者たちは耳を傾けていました。2時間はあっという間に過ぎ、帰るときには石田議員が参加の方1人1人に熱く握手を交わされる中、参加者からは「今日来てよかった」「今回、政策の必要性が本当に理解でき、石田議員の温かい人柄に接し、これから応援していきたい」という声が聞かれました。今後は今回撮影した動画・画像を編集し若手研修などで使用していくながら看護の現場と政治は繋がっていることを訴え続けながら若手看護職が政策の必要性を認識できるように取り組んでいきたい。

(青年部推進委員会委員長 盛田大樹)



青年部推進委員会 だより

来年の活動に向けて

青年部推進委員会委員長 盛田大樹（城南温泉病院）

皆様こんにちは。日頃は青年部の活動にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。平成30年度の富山県看護連盟青年部推進委員会の活動の意向として2つの要点を考えています。

1つ目は青年部推進委員会を現在より明確な位置づけにする事です。その為に、各支部の役員に若手会員に入っていただき、積極的に活動してもらう。もう一つは他県の看護連盟青年部の方達と連携を強化し情報共有をする事です。連携を取りながら活動をし、現在抱えている課題に対して解決できるように取り組んでいきたいと考えています。私達看護師が、どのような場面でも患者さん達としっかり関わるような環境を維持・向上できるように個々が連盟活動の意義を認識出来る事が重要ではないでしょうか。



平成29年度 活動報告(平成29年8月～平成29年12月)

平成29年度の研修会は、連盟活動について理解を深めると共に、自立した会員の育成や、リーダーの養成を目的に実施した。8月以降の研修会の活動状況と参加者の皆さんとの声を紹介します。

東海北陸ブロックポリナビワークショップ in 愛知



目的 若手看護職が医療政策や政治に興味を持つことで、看護職の政策過程への参加活性化と将来を担える人材の育成を図り、より良い医療の実現を目指す。

日 時 平成29年9月30日(土) 13:00～17:00

会 場 中電ホール(名古屋市)

参加者 約400名(内富山県12名)

プログラム

座談会「在宅看護の現在と未来」

座長・特別講師 参議院議員 石田まさひろ先生

登壇者 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション 藤野泰平 他3名

講評 参議院議員 石田まさひろ先生

ポリナビワークショップ in 愛知に参加して

青年部推進委員会委員 林 奈緒子(富山西総合病院)

パネリストの討論に加え、会場からの意見や質問には参加者がメールで意見を投稿し、その内容をスクリーンに投影し、一緒に参加する形で進められた。世界的にも少子高齢化が進む中でどう対応していくのか、平等な医療と言われながら都市部と過疎地との医療の格差があるなかで安心な地域づくりのために看護師の存在が大きく不可欠である。また、パネリストの一人が患者や家族を包括的にケアする「かかりつけ看護師」を提唱され、この考え方方が今後広がると思つた。患者の意思決定支援についての話合いでは、患者や家族との関係を構築することで患者は自分の意志を伝え、患者の思いを実現するために看護師がどう動くのかが重要と話された。フロアからは、病棟勤務ではなくか患者の思いを聞き出す時間が無いという意見が多かった。石田議員からは、今後求める訪問看護ステーションについて、病棟と同様、日中看護師が滞在して対応(デイケア)し夜間対応(ショートステイ)もナースコール対応することで、救急車を減らしていくといふと述べられた。この研修で看護師が提案した現場の声が政策としてどのように成り立つかプロセスの一部を見ることができた。私は外来で勤務しているが、在宅と病棟のつなぎの役割を担っていきたいと感じました。

東海北陸ブロック 看護管理者等政策セミナー

目的 ①看護協会・看護連盟それぞれの役割を理解し、組織強化に協力できる。
②看護管理者・教育者の政治への関心を高める。

日 程 一日目 平成29年10月5日(木) 13:00～16:00

二日目 平成29年10月6日(金) 9:00～16:00

会 場 ホテルクラウンパレス浜松 参加者 41名(内富山県6名)

プログラム 一日目 ①講義「日本看護協会の看護政策について」 講師 日本看護協会前会長 坂本すぐる先生

②講義「看護連盟の現状と課題」 講師 日本看護連盟会長 草間朋子先生

③講義「看護政策実現に必要なこと」 講師 参議院議員 石田昌宏先生

二日目 ①講演「看護連盟と地方議会・行政との連携」 講師 県議会議員 相坂撰治先生

②講演「医療政策の動向と課題」 講師 政策研究大学院大学教授 島崎謙治先生

③講演「看護職と政治」 講師 前衆議院議員 宮澤博行先生

グループワーク 「看護政策実現のために管理者としてどう取り組めばいい?」



看護管理者等政策セミナーに参加して 富山城南温泉第二病院 林 まゆみ

なぜ看護政策が必要か、政策はどのように実現されるのか日本看護協会が取り組んだ看護政策提言を聞き知ることができた。これからの日本の超高齢社会に向けて、医療と介護のバランスが大切。慢性期医療を担う当院の方向性としても国が示す在宅へのシフトが重要であるが、地域包括ケアシステム推進として地域への橋渡しとしての機能だけではなく、穏やかに死を迎えることができる病院や見取りに対応できる看護の質向上を目指したい。

看護連盟の活動では、看護職の代表を国政の場に送ることが重要であるが、医療関係職種の中で看護職の自分の職種への投票数の少なさに驚いた。私たちが看護職として誇りを持って働ける裏には政治の力が必ず必要であり、まずは、国政に看護の代表を送ること、



石田議員・草間会長・坂本前会長

看護管理者ワークショップ

日 時 平成29年8月19日(土) 9:00～11:50

会 場 富山県看護研修センター

参加者 56名

プログラム

講演「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」

講師 富山県看護連盟 三谷順子会長

講演「看護の課題を政策に結びつける為に」

講師 参議院議員 たかがい恵美子先生

グループワーク

「看護の課題を政策に結びつける為には」

* 参加者の声

◇現場で起きていることについて、問題意識を持ち、声にだしていただきたい。

◇看護現場の問題を提示するには、業務量などデータで示し、看護職でない人たちにわかるように示す必要がある。

◇社会の情勢を鑑みて、看護における課題を考え、小さなことからでもひとつづつ取り組んでいただきたい。

◇看護連盟の果たすべき役割をスタッフに伝達する。(議員が国会の場でどのように活動されているかなど)

◇看護連盟の存在を若い看護師たちに周知し、連盟加入や政治への関心を促す。

◇一票でも多く看護の代表候補者に投票することが、現場の声が届く近道だと思った。



中堅看護師研修会

日 時 平成29年11月11日(土) 9:00～12:00

会 場 富山県看護研修センター

参加者 129名

プログラム

講演「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」

講師 富山県看護連盟 三谷順子会長

講演「現場から政治を動かすためには～高齢社会を支える中心として～」

講師 国際医療福祉大学 教授

青少年国際交流推進センター理事長 川上和久先生



講演要旨

多様な世論集団の声を聞かなければ民主主義社会においては世論の反発で政権を失う。日本で最大の世論集団は無党派層である。無党派層の投票行動に影響を与える「マスメディア」特にテレビの影響力は大きい。一方で新聞の著しい退潮がある。テレビと新聞の違いは、テレビは「政策報道」が苦手である。医療・介護の充実の必要性を有権者は感じ、政策に期待するが、何が大事でどうしなければならないかを曖昧なまま有権者が投票している現実がある。

現場で仕事をしながら、いかに問題意識を政治に結びつけるかが重要。学生の内から「看護連盟が必要」との認識を持つことが大切。

* 参加者の声

◇今回のようにきちんと政治について教えていただきたい。

◇政治を動かすことで現場の環境や待遇が良くなればよいと心から思う。

◇議員さんと話をもてる場があると若い人が参加するのでは。

◇看護現場で起きている問題や看護が地域とどう繋がっているかアピールすることが大切。

◇現場を知る人が政治の場へ出て行くことが直接的である。

◇学生の時から政治に関心を持つ基礎教育の大切さを感じた。

新人研修会②(フォローアップ研修)

日 時 平成29年11月25日(土) 9:00～12:00

会 場 富山県看護研修センター

参加者 207名

プログラム

講演「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」

講師 富山県看護連盟 三谷順子会長

講演「看護師の労働条件の変遷からみる政治の成果」

講師 富山県高岡看護専門学校 副校長 谷村秀子先生

グループワーク

「私たちにできる政治活動は」



* 参加者の声

◇自分の労働条件をよくする為には自分が行動していく事が必要と思った。

◇教育方法が変わっており、共に働く年代で新人の経験値や知識技術の習得状況が異なることに戸惑っている。

◇夜勤手当が上がってきたことに驚いた(昔は低すぎた)。

◇視野を広くして看護の質を挙げたいと思った。

◇時間内に業務を終るように上司、先輩から言われ、じっくりと学んだり、手順を振り返ることができて楽しかった。

◇看護の先輩たちのおかげで今の生活が保障されていることを知り、政治参加の必要性を強く感じた。

◇世の中の状況に合わせて看護の実践内容変わってきたことを理解できた。

若手会員研修会

日 時 平成29年7月22日(土) 9:00～12:00
 会 場 富山県看護研修センター
 参加者 168名(男性17名 女性151名)
 プログラム
 講演「看護連盟の現状と課題・統基基礎研修」
 講師 富山県看護連盟 三谷順子 会長
 講演「犯罪被害者等支援からみる政治の役割について」
 講師 富山県議会青年局議員 奥野詠子 先生
 パネルディスカッション
 テーマ「働き続けられるための環境作り」

* 参加して
 講演では、看護連盟の歴史、役割等や犯罪被害者への支援について学んだ。

パネルディスカッションでは、急性期・慢性期・訪問看護分野別の発表がありそれぞれの職場環境について考える事ができた。又、WLBの充実や給料アップを考えるには職能団体の国会議員がいることで専門的なことを理解してもらえる。そのことにより、制度が変わることに繋がる。そのためには、選挙に行き投票することが必要である。今後も県会議員を講師に招き、講義等で学ぶ機会があればよいと思った。

リーダー・サブリーダー研修会

日 時 ①平成29年9月2日(土) 9:30～12:00
 ②平成29年9月9日(土) 9:30～12:00
 会 場 富山県看護研修センター
 参加者 9月2日 115名 9月9日 88名
 プログラム
 講演「看護連盟の現状と課題・統基基礎研修」
 講師 富山県看護連盟 三谷順子 会長
 グループワーク
 「リーダー・サブリーダーの役割」

* 参加者の声

- ◇他施設の活動を知り、活動のアイディアが得られた。
- ◇施設により活動や位置づけの違いがある事が解った。
- ◇現場の声を届け、現状を伝えて行く事が働きやすさにつながることが理解できた。
- ◇若い人の発言が少なかったのが残念だった。
- ◇前任者からの申し送り必要。
- ◇連盟の意義を知らず全員加入している施設では各自覚が必要。
- ◇活動伝達用のビデオなどあればよい。



夜間看護等手当及び夜勤手当調査結果

県内における夜間看護手当等に関する現状を調査し、課題を明確にすることを目的にアンケートを実施しましたのでその結果を報告します。（調査期間：平成29年9月～10月）ご協力をいただいた方々に感謝いたします。

1. 施設概要（施設数）

公的病院	19	民間病院	18
------	----	------	----

* 県内の会員の医療機関 47 施設に協力を依頼し、37 施設から回答がありました。

2. 看護職員の概要

①平均年齢

公的病院	33.0歳～43.1歳	平均	38.0歳
民間病院	37.0歳～51.0歳	平均	43.4歳

3. 労働時間（週）

公的病院	37.25～40.00 時間	平均	38.8 時間
民間病院	38.25～40.00 時間	平均	39.8 時間

5. 夜間看護手当（勤務の全部又は一部が深夜となる勤務に対し、勤務1回につき支給する手当）

公的病院	準夜勤務手当 2,900円、深夜勤務手当 3,300円がほとんど。
民間病院	準夜勤務手当 2,180円～6,000円、深夜勤務手当 2,100円～11,000円 (夜勤手当と合算の施設もある)

6. 夜勤手当（深夜時間帯の勤務の労働時間に対して、勤務1時間につき支給する手当）

公的病院	深夜帯は勤務1時間当たりの給与額の25%の支給
------	-------------------------

民間病院の記載が少なく、夜間看護手当との合算等ではっきりしたデータが無い。

7. 給与体系

公的病院	医療職3表が9施設、行政職1表が1施設、法人独自4施設
民間病院	法人独自の給料表がほとんど、医療職3表が2施設

今日より
もっといい明日へ。

多様化する社会で

思い描ける未来は無限大

その一步先を目指して

YPP 株式会社 山田写真製版所

富山本社／〒930-0063 富山県富山市太田口通り2-1-22 TEL. 076-421-1136(代)

H P / http://www.yppnet.co.jp/

極上の毛並みに包まれる幸せ

東洋羽毛北信越販売㈱

好評オンエア中！

東洋羽毛のテレビCM「創業品質」

TUK 富山営業所

〒939-8075

富山県富山市今泉325-3

0120-365021

徹子の部屋

毎週火曜日 昼12:00～12:30

テレビ朝日(EX)系 全国24局ネット

平成29年度 支部活動報告

看護連盟活動について理解が深まると共に、楽しく魅力ある研修を実施しています。
 今年度の主な活動を報告します。

黒部・魚津支部

ねらい：看護連盟の理解及び看護と政治について感心を高め、看護職の課題を探り、会員相互の親睦を図る。
 開催日：平成29年9月23日(土) 参加者：31名
 会 場：新川学びの森 天神山交流館
 内 容：講義「富山県看護連盟の現状と課題」
 講義「慢性心不全看護認定看護師の役割と活動」

アンケートの感想では、「自分達の思いは自分達の代表を政治の場に送り出すことで反映されることだと再認識した」「職場や看護をよりよくしていくためには、今後も看護の代表を応援していかたい」「政治にもっと興味を持つことが大切」など。悩み・要望として、「看護師の人数が少なくスタッフ全員が疲弊している」「有休がとりにくい」「日勤の終了は21時が当たり前になっている」「特定行為のニーズは高齢社会を背景に考えれば県内で受講できるとよい」など。

砺波・小矢部・南砺支部

開催日：平成29年7月9日(日)
 会 場：砺波総合病院 参加者：105名
 内 容：日本看護連盟・県看護連盟通常総会報告
 基調講演「砺波地域医療構想について」
 座談会「在宅医療の展開」
 地域包括支援センターや訪問看護、認知症グループ、小規模多機能居宅介護の立場から

■座談会では看護マリの質問があり生活状況をイメージできる内容と患者・家族の思いが詰まった内容、療養生活を続ける上で必要な病状の情報がほしいという要望があった。
 ■アンケートでは、「地域医療構想は今の医療・福祉の主体なので、今後最も大切」「いろいろな施設の取り組みやサービス内容を聴くことができ良かった」「自分を見直す良い機会になつた」「病棟での退院支援に活かしていかたい」また、連盟活動では看護職の議員や看護を応援する議員に看護政策を要望しているが、そのことが、子育て世代等がより働きやすくなつたことなどのように関連しているのかアピールしていく必要があるなど。



富山6支部合同研修会

ねらい：看護連盟の役割を理解し、看護と政治のつながりを学ぶ
 会員相互の親睦を図り、活動の幅を広げる
 開催日：平成29年12月16日(土)
 会 場：富山県看護研修センター 参加者：78名
 内 容：講義「看護連盟の活動と役割・統基基礎研修」
 実技「癒しのハーバリウム」

■開会と同時に「石田まさひろ参議院議員」のサプライズ登場があり、看護の方向性について話され、「石田議員の言葉を生で聞き、現場の声を聞いてくださっていると感じた」「石田議員の政策に共感し、応援したいと思った」などの参加者の声があった。
 ■会長の講義では、「最新情報が盛りだくさん」「ベッドサイドの問題を政策に反映させる為に看護連盟の役割は大切だと感じた」「連盟の歴史がハンドブックの活用で分かりやすかった」
 ■癒しのハーバリュームでは、「集中して作るので、日頃のストレスを忘れる時間になった」「見ているだけで癒された」



射水・高岡・氷見支部

ねらい：①看護連盟会員としての自覚を持ち、その役割を知る。
 ②会員相互の親睦を図り、活動の幅を広げる。
 ③心身のリフレッシュを図る。
 開催日：平成29年11月25日(土) 参加者：58名
 会 場：済生会高岡病院
 内 容：講演「身近な政治の話」講師 県議会議員
 実技「ハーバリューム」作り

アンケートでは、「議員の日頃の活動や県政の取り組みが分かつた」「国が何をしてくれるではなく、私達が国に何をするかが心に残った」「今後政治に関心を持ち、身近な問題を提起していきたい」「政治は、私たちの身近にあることを再認識した」「連盟の会員でない方も説明を受ける機会があると良い」など。

富山県知事登録旅行業 第3-226号

有限会社 タイセイツアーズ

〒939-2376 富山県富山市八尾町福島251
 TEL:076-455-8211 FAX:076-455-8222
 E-mail:taiseico@topaz.ocn.ne.jp
 URL: http://www.cty8.com/taiseico/taisei.html

高岡・氷見2支部



組織強化を図ることが重点課題です。若手会員の方には、積極的に研修などに参加していただけたり、施設のリーダーやサブリーダーの役割を担つていただくことで看護連盟の活動や役割が理解でき、それが各自の継続した活動に繋がると思います。

また施設内でミニ研修などを開催し、看護政策への関心を高めていきます。

高岡・氷見2支部支部長
田中 紗子

支部に属する施設: JCHO 高岡ふしき病院 / 金沢医科大学氷見市民病院 / 澤田記念高岡整志会病院 / 氷見訪問看護ステーション

高岡・氷見1支部



当支部は、全会員数は 650 名程度で県西部の中心的な役割を担う活動を行っています。29 年度担当研修は射水・高岡・氷見2支部の協力を得て、県会議員の山本とおる先生をお招きし「身近な政治について」ご講演いただきました。

今後も会員が連盟や政治について理解を深められるように努めています。

高岡・氷見1支部支部長
田中 仁美

支部に属する施設: 厚生連高岡病院 / 清生会高岡病院 / 高岡市民病院 / 富山県高岡看護専門学校 / 高岡みなみ病院 / あさなぎ病院 / 訪問看護ステーションほのぼの / 個人会員

14支部長より 平成30年の活動に あたって



富山北1



富山北1支部支部長
藤川 揚子

当支部の幹事長は男性で、青年部推進委員会のメンバーです。幹事長を中心にリーダー・サブリーダーと協力して、北支部の若手会員に声をかけ、「石田まさひろ」を知つてもらう年にしたいと思っています。

また、毎年継続して開催している支部の研修会では日々の労を教養講座で癒やし、連盟を理解してもらえる研修会にしたいとスタッフ一同新しい教材を探し頑張っていきます。

支部に属する施設: 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター / 富山通信病院 / 富山市中央保健福祉センター / 富山市大沢野保健福祉センター / 富山市保健所 / 富山市福祉保健部 / 富山市障害福祉課 / 富山市立石金保健所 / 訪問看護ステーション plus.1 / 富山県看護協会 / 訪問看護ステーション ひよどり富山 / 神明・五福地域包括支援センター / ひよどり富山居宅介護支援事業所 / 南富山中川病院 / 高志ライフアホーム / 看護連盟 / 個人会員

小矢部



今年度の日本看護連盟活動目標は「知る」です。それを受けて小矢部支部も「石田まさひろ」を知つてもらおうと思います。前年度から引き続き、「石田まさひろ」のポスターを女子更衣室、男子更衣室、各部署休憩室に掲示して知つてもらっています。今年度はさらに「石田まさひろを応援する会」からいただいた名刺を連盟会員以外の非常勤看護師、看護助手、介護福祉士、サークル仲間に配布し、知つてもらよう活動中です。また、参議院議員「石田まさひろ活動報告」の回覧や新人看護師、新採用者に連盟の入会と名刺を配布し、「石田まさひろ」を知つてもらおうと思います。

小矢部支部支部長
鷹田 喜美

支部に属する施設: 北陸中央病院 / 小矢部市役所健康福祉課 / 個人会員

射水



当支部の活動は、研修会を中心にお互いの親睦やリフレッシュを取り組んでいます。各施設では、新規会員の拡大に尽力いただき、リーダー会では、長年連盟活動に協力している人や初めての人も交えながら、今ある課題を取り組んでいます。

射水支部支部長
林 敦子

支部に属する施設: 富山大学附属病院 / 富山大学看護学科 / 射水市民病院 / 訪問看護ステーション ひよどり / 富山福祉短期大学 / 真生会富山病院 / 個人会員

南砺



支部長となり半年が過ぎ、ようやく支部長として目標を掲げることができました。会員個々に連盟活動が身近なものとなり連盟への関心・理解を深めるためには各施設リーダー・サブリーダーの力が不可欠です。今年度は定期的に連絡会を開催し連絡を密にして、支部の活性化と連盟活動の活性化に繋げたいと思います。

南砺支部支部長
上田 美津子

支部に属する施設: 南砺市民病院 / 公立南砺中央病院 / 国立病院機構北陸病院 / 研波厚生センター / ふくの若葉病院 / 南砺市訪問看護ステーション / 南砺家庭地域医療センター / 個人会員

砺波



一人でも多くの会員に顔と名前を知つてもらうよう、リーダーやサブリーダーと連携を図りながら、連盟カレンダーや国会議員の活動報告などの配布を随時行い活動してきました。

今後も継続していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

砺波支部支部長
玉井 潤子

支部に属する施設: 市立砺波総合病院 / あおい病院 / 砧市北部ディサービスセンター / ナラティブホーム / 砧淮看護学院 / となみ三輪病院 / 砧波医療圏急患センター / 砧市役所 / 個人会員

富山西2



当支部は、会員全体の 9 割が公務員会員であり、施設全体での積極的な政治活動が難しい現状があります。しかし、公務員会員にもできる政治活動や看護連盟の活動が会員の皆さんにもっと身近に感じ、現場の大変さを自分達が政治の力で変えられることを研修を通して理解していただき、協力してもらえるよう努めています。会員の皆さん、今後も積極的な研修参加をよろしくお願いします。

富山西2支部支部長
竹内 陽子

支部に属する施設: 富山市民病院 / 富山市立看護専門学校 / 山田温泉病院 / 三輪病院

富山東1



富山東1支部支部長
高堂 昌子

今年度支部では、若いリーダー・サブリーダーが積極的に研修会に参加し、看護の最新動向を知り会員に伝えしていく役割意識を高めています。

支部役員として、リーダー・サブリーダーを支え連盟の必要性と役割の重要性を会員に伝えるため連携体制が大切だと感じています。看護職が働きやすい環境を作るために、看護職の代表を国政に送り続けることを目標に活動していきます。

支部に属する施設: 清生会富山病院 / 常願寺病院 / デイサービスこのゆびとーまれ

富山西2



富山西2支部支部長
前川 孝子

会員数 530 名となっており、この他に賛助会員がいらっしゃいます。

大きな活動としては、6 支部合同研修会です。内容は、「看護連盟の活動、現状と課題」等を開催しております。今年度も多くの皆様方の参加や来年の選挙に向けてのご協力をよろしくお願ひいたします。

支部に属する施設: 富山赤十字病院 / 富山赤十字看護専門学校 / 富山城南温泉病院 / 富山城南温泉第二病院 / シルバーケア城南 / シルバーケア今泉 / シニアライフもなみ / 富山市医師会看護専門学校

富山西1



富山西1支部支部長
林 奈緒子

支部研修や県連盟の研修を通して連盟の活動を理解していただくよう活動を行っています。「石田まさひろ議員」と語る会には富山西1支部から 20 歳代男性会員の参加があり、想像していた国会議員のイメージは無く親しみを感じたと感想を述べていました。

今後も研修を通して活動を知つてもらえるよう働きかけていきたいです。

支部に属する施設: 医療法人西能病院 / 谷野興山病院 / 特別養護老人ホーム 梨雲苑 / 介護老人保健施設 みどり苑 / 八尾総合病院 / 西能みなみ病院 / 風の庭 / 個人会員

富山東2



富山東2支部支部長
加藤 昌子

当支部は約 400 人の会員の皆様と共に学び活動しています。

今年度の三谷連盟会長の講義の際には、ご自身の経験談を交えての話に、受講者の皆様にもその熱い思いが伝わり「胸に響いた」等の感想が寄せられ有意義な時間を共有できました。

今後も看護連盟の役割の大切さと共に、看護職の素晴らしい成長を研修を目指して役員一同頑張りますのでよろしくお願いします。

当支部の会員数は 275 名で、年 3 回講師を招き研修会を実施しています。

より良い医療、看護の実現のために研修会を通じ、看護連盟の役割や活動の理解を深めてもらいたいと思っています。

今後は、各施設のリーダー・サブリーダーと定期的に集まって情報交換したり、各施設でミニ研修会を開いて、看護連盟や選挙への関心をもつてもらえるように活動していきたいと考えています。

今年は、当支部の連盟会員全員が国会議員石田まさひろ氏の政治活動を応援し、組織内候補予定者として【知る】為の活動を各施設のリーダー・サブリーダーに協力していただきながら一生懸命頑張ります。今年も宜しくお願いいたします。

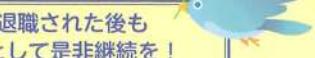
支部に属する施設: 県立中央病院 / 県立総合衛生学院 / 県立大学 / 流杉病院 / チューリップ長江病院 / 不二越病院 / 藤の木病院

会員募集中

～一人ひとりの会員の力が連盟活動を支えます～

年会費

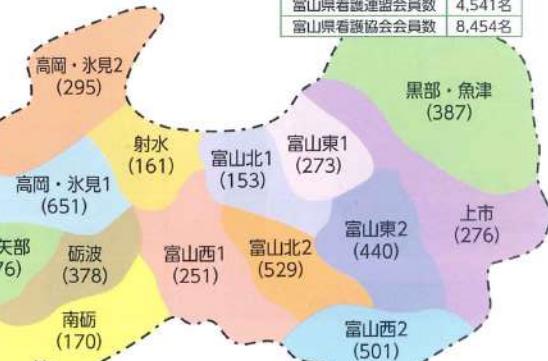
- ◇正会員 7,000円
(富山県看護連盟 2,000円 日本看護連盟 5,000円)
- ◇特別会員 7,000円 ◇賛助会員 1,000円
- ◇学生会員 無料



現職を退職された後も
特別会員として是非継続を！
看護の未来のために、
共に頑張りましょう

支部配置図 (14支部と会員数)

会員数 (平成30年1月7日現在)	
富山県看護連盟会員数	4,541名
富山県看護協会会員数	8,454名



平成30年度 行事予定

◇看護連盟総会	日本看護連盟通常総会 富山県看護連盟通常総会 特別講演 講師 草間朋子 日本看護連盟会長	平成30年6月5日(火) 平成30年6月23日(土)	東京プリンスホテル タワー111スカイホール
◇看護協会総会	日本看護協会通常総会 富山県看護協会定時総会	平成30年6月12日(火) 平成30年6月16日(土)	パシフィコ横浜 タワー111スカイホール
◇富山県看護連盟研修	新人研修① 講師 石田まさひろ 参議院議員 *他の研修については、検討中。後日、ホームページなどでお知らせします。	平成30年4月22日(日)	タワー111スカイホール
◇東海北陸ブロック協議会研修	第4回ボリナビワークショップin三重 第5回看護管理者等政策セミナー	開催日は未定 開催日は未定	三重県 福井県

県外研修 代表議員の活動を視察しました！

目的 JNA会館見学と日本看護連盟の役員との懇談を通して、職能団体として政治活動の重要性を理解する。国会議事堂を見学し、看護職代表議員の活動を知ることによって政治への関心を高める。内閣総理大臣の執務拠点となる現場を実際に体感し、政治への関心をより深める。

日程 一日目 平成29年11月21日(火) JNA会館視察
二日目 平成29年11月22日(水)
参議院本会議傍聴、国会議事堂及び首相官邸見学

県外研修に参加して

南砺支部幹事長 梶崎 マユミ

秋も深まった2日間の研修期間中は非常に天候に恵まれバスから眺める景色には紅葉や山頂に積雪やらで目を楽しませてくれました。JNA会館視察では、清水嘉与子先生から、看護協会設立、看護連盟の誕生までの経過、その後の地道で堅実なあゆみについてわかりやすくエネルギー的にレクチャーしていただきました。また、夜の懇親会では看護代表国會議員や富山県選出国會議員の先生方が、ご多忙中のところ時間を割いて会場へ駆けつけられ、現在の政治状況やご自身の活動内容などについてお話を聞かせていただき、顔を合わせて触れ合う貴重な時間でした。

2日目は、ちょうど国会本会議中であり、厳重な警備態勢の中、参議院本会議審議を傍聴や国会議事堂内を見学することが出来ました。また、特別に首相官邸内の見学があり、日本国を司る様々な政治の拠点を目にすることが出来ました。これまででも看護を取り巻く環境は目覚ましく変化を遂げてきましたが、これから更に多種多様な課題が絶えない状況になっていくであろうことは否めません。今回の県外研修に参加し実際を目にして政治への興味や関心がより身近なものと深まりました。ベッドサイドから政治を変えていくには看護連盟会員が看護職の声をまとめて議員の先生方に届けることが必要と確信しました。

そのためにも私達看護職のために力を振り絞って活躍されている議員さんをしっかりと応援し、自分だけでなく周りの人にも一票でも多く選挙で投票してもらうように働きかけることが私達会員の役割であると強く心に留めることができました。貴重な体験の機会を頂き本当に有難うございました。感謝申し上げます。



参加者
41名



野上浩太郎内閣官房副長官と首相官邸にて

編集後記

会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたことと思います。
富山県看護連盟は、会員数4,541名となり、事業も順調に進んでいます。今号は、組織内候補予定者である石田まさひろ議員について特集しました。
会員の皆様に、石田議員について知っていただくと共に、看護連盟活動への関心を深めていただけたら幸いです。
広報委員会一同頑張ります。皆さんのお届けください。よろしくお願ひいたします。(文責:竹内陽子広報委員会委員長)